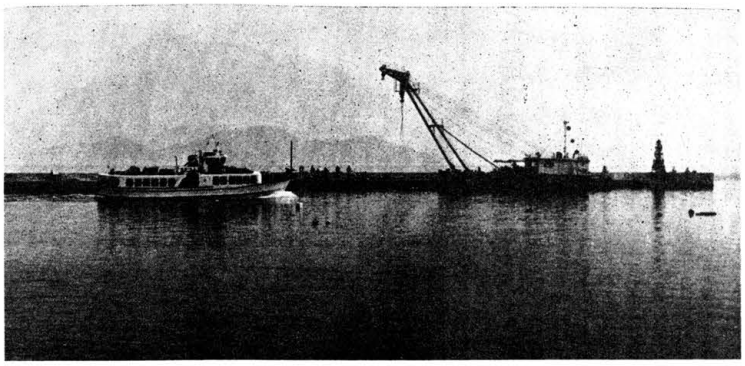
宗像

毎月十五日発行
発行所
宗像大社
宗像社
福岡県宗像郡玄海町
電話 09406 ② 1311 代
年定価 一送料共 1000円

海はまねく



紺碧の空に
太陽がきらめき
限りない希望を
孕んだ入道雲が
水平線に
湧きあがると
玄界灘に
夏がくる
今、船は
未知の夏へと
旅立ちを始めた

夏休みを前にして、各地で海水浴場開きが執り行こなわれている。当地宗像郡内各海浜は、公害問題とは縁遠く、先日福岡県の保健所の調査でも、全域が海水浴場に〝快適〟との診断を受け、今夏も大変な人出となることが予想される。

写真は　夏に向い整備を終えた渡海船「弁天丸」

論説　家庭教育のガキと坊ちゃん

家庭教育の話に触れるのに、江戸時代の裏街に住んだ連中が子供を呼んだ言葉ガキを出しては、いささか下品に過ぎる感を持つ向きもあろう。ガキは庶民的な子供の別称ではあるが、下品ではない。その意味するものを釈明すれば、それがそのまま家庭教育の問題の核心にも及ぶので、先ずガキ論から筆を起してみた。

先ほど、古参の新聞人が随想の中にガキについて書いていたが、少年の頃の屈托のない腕白ぶりが思い出される懐しい言葉、現代も子供に過しと育つガキであって欲しいと結んであった。同感である。強い根性が植えつけられるのは、ガキであって、弱々しい坊ちゃんに期待されない。

困苦に打ち勝って根性の強さが生む勇気、それが人生の難局を切り抜ける。弱音を吐かず素志を貫く。ガキはこうでなければならない。

漢字で書けば「餓鬼」。むつかしく詮索すれば仏教の六道輪廻の思想に源がある。天上・人間・餓鬼・畜生・修羅・地獄の六道界を死に変り生れ変ると説く仏教の因果応報の哲学は厳しく、これを信ずる者としては、さきの悪徳も許されない。然し、現代は信じない者多く、飢えや痛みに苦しむ餓鬼道ほど縁はない。むしろガキと書いて熊公八公流のユーモアを感ずるだけである。

坊ちゃんは、悪童、ガキを発揮しそうなガキと列ぶと、何となく裕福な家庭に甘えた意気地なしの別称を感じさせる。教育上のガキと坊ちゃんの持つ言葉の性格は、一応そうした感懐のままにして、この両者を少し歴史上の人物に当てはめて、その人生成果を観察してみよう。

考る平家は久しからず、すっかり大宮人に軟化させられた平家の公達の優雅な生活とは反対に、伊豆の流人源頼朝と鞍馬の稚児牛若丸の兄弟が積む修練の逆境。それは坊ちゃんとガキのよき対象であった。坊ちゃんは武士の気概を失い、ガキは源氏再興の気魂に燃え、遂に屋島壇の浦の悲史と鎌倉幕府創建とを見せたのである。

頼朝の慧眼は、京洛に本拠を置いて平家軟弱化の轍を踏むことなく、質実剛健を鎌倉武士の本領とした。幕府は北条氏に実権は移っても継続され、後の文永弘安の役に、よく蒙古の大軍と戦って国土を護り得たのである。

ガキに育った頼朝、その子頼家を坊ちゃんにしてしまった。孫の実朝に至っては、江戸川柳のうり家と唐様で書く三代目の文句通りに歌道には秀でても、武家の統領には不適格の坊ちゃんで、祖父の偉業を潰してしまった。

更に一例を豊臣秀吉に取る。尾張の貧家に生れ、少年の頃から針売りなどして諸方を放浪した日吉丸は、まさに典型的なガキ大将であった。貧苦に鍛えられた根性と機智は、長く彼を信長の草履取りにしておかなかった。天下の権を、家柄も格式もないガキが握ったのは、頼朝以上の珍しい史実である。

これも二代目は坊ちゃんで、駄目の見本。派手なママ淀君の家庭教育では、夏の陣に悲劇の幕を下す坊ちゃん秀頼の結末となるより外はなかったのである。

この頃、知名士の講演卓話など聞くと、必ず言いたい程、最後を教育の重要性を説いて結ぶ。佐藤栄佐元首相が、死去の数ケ月前福岡で時局を語った時も、国家の前途は教育にかかると強調した。

最近では、灘尾弘吉元文相が、同じく福岡で時局を論じた折も、教育問題に国家の命運に関わる重大性のあることを特に力説している。その他にも新聞雑誌に知識人の所論が多く見かけられる。

異色の意見は、ユダヤ人で日本人を師とするトケイヤー氏の「日本人は死んだ」と題する書冊で、鋭い日本批判の中の厳しい教育論である。彼は外国人にとっては殊に難解とされるわが国独特の格言理諺にも精しく、それだけ民族伝承の国民性をよく理解しているのであるが、仕方がないの諦めの哲学では済まされない今日の誠に危機を孕うもの、それは物質的繁栄で起ち上った日本が、次も亦景気の回復と経済建直しのみに頼ってならぬことを指摘している。教育による精神の復調が最も肝心で、物質や智慧は起死回生の妙薬でない。教育が民族の美点長所を取り戻す唯一の道と強調している。

外国人に教えられて気づいてもよい。新旧の書物を読んで考え直してもよい。教育の根本は家庭にある。温いガキを、日常の躾（しつけ）が育てて欲しい。

神具、装束
結婚式場用品
株式会社 井筒
九州店　福岡市博多区東公園二一三一（〒八一三）
電話福岡（〒三）六五一—九四五六番
京都市下京区油小路八条北入（〒六〇）
本社　電話京都（〇七五）二四一—三四一（代）〜四番
二五一—二四二・〇八六番

出光タンカー　日田丸竣工祭斎行

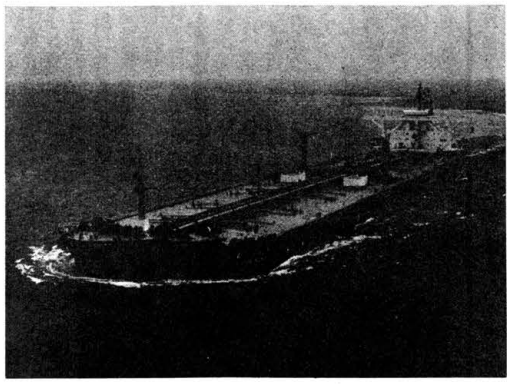
去る六月二十四日、二十五日の両日にわたってマンモスタンカー日田丸の竣工祭が小雨ふる長崎で行なわれた。

長崎港にゆったりと巨体を浮かべた日田丸は、出光タンカー㈱（門司盛義代表取締役）の所有船で三菱重工長崎造船所において建造された。

全長三四〇メートル、巾五十四メートル、二十五、五万重量トンというまるで動く島を見るような船である。機関室をはじめすべての装置が自動化され、体育室、娯楽室等厚生施設も完備している。船体の大きさにもかかわらず乗組員わずか二十名で操船できる最新鋭の油槽船である。

船名日田丸（ひだ丸）は、かって出光佐三氏に独立して創業する資金を供与され、その後も常に援助激励された〝日田重太郎氏〟の名を冠したものである。

まず二十四日、午後三時より日田丸船橋操舵室に設けられた神棚に宗像大神を奉安申し上げる鎮座祭が、宗像大社宮司外二名の神職奉仕のもと行なわれた。



翌二十五日、午前十時より同じく操舵室において鎮座祭並びに命名式斎行。出光タンカー㈱門田代表取締役、出光興産㈱出光常務取締役、石橋日田丸船長以下乗組員その他関係者多数が威儀を正して参列された。

祭典中とくに葦津宮司の祝詞奏上について門田代表取締役の「本船を日田丸と命名する。」との命名の言葉があった時、厳粛な雰囲気がさらに一段と引締る感があった。

祭典終了後、甲板で引渡式が行なわれた。

なお、日田丸は同日午後四時、中東へ向け処女航海に旅立った。

夏越大祭　大祓神事　御案内

拝啓

暑さも日毎に厳しさを増してまいりました。さて恒例の夏越大祭が近まってまいりました。この祭りは大祓神事を中心に行なわれ、心身の罪穢を人形に托して祓い除き、清々しい気持ちをもって明日の生活を安らかにするための祈りをこめた祭であります。

本年も左記により斎行致しますので皆様お誘い合せの上御参拝下さいますよう御案内申し上げます。

敬具

七月吉日

宗像大社宮司　葦津嘉之

特別崇敬者各位

記

一、七月三十一日
　午后五時大祓神事
一、八月一、二日
　午前十一時、夏越大祭

阿蒙少言

現代の不足不満の多い世情に、過剰なものが二三目につく。その第一にあげたいのが、他人事に対する余計なオセッカイ、無用の口出しがいやになる○まだ昔の話に入らないが、佐藤元首相にノーベル平和賞が贈られる発表があった時、進歩的革新的を自認する一部の連中が不同意を表明して世論にしようとしたくらぬ思い出などは、いらざるオセッカイの見本であろう。平和賞は請求したのでなく先方が決めたもの、佐藤元首相が保守政治家であったのを嫌っての反対と受けとれた○他人がどんな栄誉を獲ようと、自己は勿論自党にも社会にも何ら迷惑損害にならぬのに、黙っておれぬ嫉妬心が卑屈でいやらしい。苦労した人が富貴栄達の報いを受けるのは当然と、好むと好まざるに関わらず笑って知らぬ半兵衛にされないのか○次に権利の主張過剰の抗争が、トゲトゲしい空気を作り出すこと。民主々義の基本的人権を守る精神はよい。何でも彼でも人権に結びつけて、あくどい反対斗争の旗上げなどは、社会の公正な秩序を破壊し善良な風俗を損傷するもので、平和友好の歌い文句が泣く○平等だ親和だと、団体行動の看板は立派でも、しめた鉢巻はその象徴とはなっていない。行き過ぎて、時に非情残忍と感ずる場合さえある。どう間違っても土蔓工商の封建社会に逆戻りもなければ、殿様の行列が庶民を下座させる風俗が再現されることはない○万物の霊長と自認する人間様の原点に起って、人間として最も大切な事は何かを考えてみたい。昔の人は、対自然や対人間また対動物の調和の情感を、甚だ大切にした。それを「あわれの情」「物のあわれ」と表現していた。それが美しい人情の源泉であり、動物愛護も自然保護も「あわれの情」の発露に外ならない。

（日雲）

暑中御見舞申し上げます

APOLLO　出光

福岡市中央区大名2丁目8番26号
出光興産株式会社福岡支店
取締役支店長　鶴常敏

北九州市門司区錦町3番7号
出光興産株式会社門司支店
支店長　内田澄

海の正倉院沖ノ島
磯釣り問題について
（その二）

昭和五十年六月二十六日この野鳥の会の報告を基にして、文化庁は小屋島生息の「カンムリウミスズメ」を天然記念物に指定し、その旨を官報に告示した。ついで七月二十二日、当社会議室で開催された「沖ノ島、鳥獣保護区特別保護地区の指定に関する公聴会審議」に、当社の供述人として楠本祢宜が出席し、釣人によって日々荒廃の一途をたどる沖ノ島の現状を強く訴えた。

八月に入るや、郡内六漁協から磯釣禁止の請願書また遊漁船側より磯釣許可を求める陳情書がよせられ、当社は直ちにこれを福岡県教育委員会に報告した。この頃より新聞各紙は紙面に「釣り人に荒らされピンチ（宗像郡沖ノ島）」の標題で磯釣を社会問題として大きく掲載し、またラジオ、テレビ各社も一斉にこれを報道し大きい反響をよんだ。八月十八日、福岡県教育委員会教育長より教文第七三一号をもって小屋島に生息する「カンムリウミスズメ」の保護に関する依頼書が当宮司宛に送達された。この間、先の「沖ノ島磯釣遊山禁止方依頼」について検討を重ねてきた福岡県漁場利用調整協議会より鍵田模会長名で当社宮司宛に左記の回答があった。

沖ノ島瀬渡し及び磯釣の禁止について

標記について、沖ノ島及び周辺島嶼（以下「沖ノ島」という）における磯釣については、沖ノ島が貴大社の所有にかかる境内地であり信教上貴大社の自主営を建前とするものであることを十分尊重すべきであるため、この問題については、貴大社においてよろしくお取り計い願いたく御回答いたします。

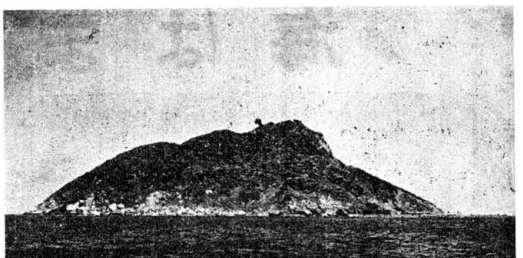
これを受け、当社では対策を関係諸団体と種々協議を重ねていたが、十一月九日より十一日までの間に於いて発生した遊漁船の事件により、この問題の早急な解決を求めることとなった。

九日午前中に沖ノ島に訪れた遊漁船三隻三十八名の釣人は周辺岩礁で釣りを行っていたが夕刻より荒天となり生居り時第一大生丸船長より釣客三名を岩礁に置き去りにして収容不能であるため海上保安庁の救助方を奉仕神職に届け出た。ここに当社は社員用緊急無電で福岡海上保安部に救難方を要請した。午后九時遭難者は岩づたいに登山をし島内を通過し無事帰船したため同保安部では救難手配方を解除した。

翌十日も高波のため遊漁船は島内に閉じこめられ、第一大生丸釣客十二名の食糧が欠乏し、食糧貸与の願いが社務所にあった。ここに奉仕神職は各船長を召喚し厳重なる注意を与え、食糧二日分を貸与した。また、小波止大口に停泊した遊漁船でいこの舫綱が無法なとりかたをしていたため漁船の港内出入が防害される等種々のトラブルが発生した。

十一日早朝遊漁船三隻は釣客の不満に抗しきれず高波をついて帰路につき正午頃、博多港に帰港し福岡海上保安部の取り調べをうけた。

その結果、遊漁船でいこは未許可船であることが発覚し、船長、船主は検挙された。



沖ノ島と原生林

第五回 玄海町少年剣道大会
盛会裡に終る

夏休みも目前となり、青少年の行動が注目される季節となった。青少年の非行防止の一環として、玄海町では夏季郡少年剣道大会前に、町内に於ける大会が指導者をはじめ地域住民の協力により開催され第五回目となった。

六月十三日、梅雨入りの日曜日、玄海小学校体育館に於て、百拾余名の参加選手で熱戦がくりひろげられ、昨年寄贈された玄海町よりの優勝旗、玄海農協、宗像大社の大トロフィ争奪の行方が興味の的となった。

定刻午前九時、玄海町長外来賓の挨拶、試合上の諸注意がなされ、午前中に各学年別の個人戦が行われた。実力伯仲各試合に一喜一憂の白熱戦が繰り広げられ、終始会場にはおしみない声援がおくられた。

午后、愈々期待の団体戦で、開前より館内は一段と熱気が漲り、萬雷の拍手のうち日頃鍛えた技倆と闘魂が随所で激突し、町期待の少年達の意気すごぶる軒昂であった。

因に今大会の成績は次の通であった。

団体戦　優勝（小学生）
高学年　池野少年剣道部
低学年　玄海小少年剣道部

個人戦

〔二年生の部〕
優勝　中村　康弘　玄海小
〔三年生の部〕
優勝　今村　高弘　玄海小
〔四年生の部〕
優勝　岩瀬　清貴　岬
〔五年生の部〕
優勝　安永　博文　池野
〔六年生の部〕
優勝　矢原　吉房　池野
〔中学生の部〕
優勝　矢原　貴次　池野

革命と芸術の都パリ

市街地にあるホテルとしては、環境は比較的静かである。宿泊客に日本人が多い。九州弁が特に耳に入るが、集つて話題中の態度は農協関係らしく、猫や杓子の金で済むことなの会話が、いやに下品にひびく。フランスの市民に言わせると、これらも不良外人に数えられる類だろう。

厚化粧した和服姿の料亭マダムらしい女が、二三の若い和服娘と共に金のありそうな幹部に、しきりに日本料理の宣伝をしている。近くに料亭の看板が日本語で書いてあった。

戦後いつか忘れていた「隊長」と呼ぶ声が、エスカレーターを降りて来る。戦争中どこかの部隊の隊長もしていたらしい老人が、ロビーで手を挙げる。一代の風雲児ナポレオン先生の本国、大革命の本場に来て、隊長の肩書はお笑い草である。勲何等か乱授の礼綬襞章かを、ぶら下げていないだけがよい。

隊長と言えば、半旬先生にも嫌な思い出がある。若い頃、幹部候補生上りの先生も召集を受けて従軍、副官や隊長をやらされたことがあった。丈夫でない先生は、決して勇ましい隊長ではなかった。

「隊長殿、久し振りですな、功名手柄は建て放てよい、負傷するな戦死するなと、こっそり言われた隊長殿の際の言葉が、今も耳底に残っているような気がしますよ」と、戦後何年目かに旧隊員の集会があった席で、半旬先生は酒かけられて当惑した。隊長殿だけはもうやめてくれと、宴席で何度も旧部下に頼んだが、長い戦場生活の癖は容易に抜けない。

ホテルの前にMETROの看板が見える。その下に階段があって、降りると地下鉄駅がある。パチの「モナ・リザ」をはじめ、多くの傑作を集めたルーブル美術館その他、愛好家の目を楽しませる処は多い。然し、真に興味をもって鑑賞し観察する日本人旅行者は少いと云う。珍しい買物や割安のみやげ物探しが盛んで、開市と呼ぶ異街の露店では多くの日本人に出会う。僅か三週間の旅路、ここまで来てまずい日本料理のれんをくぐっては、ナポレオンに笑われよう。

案内者トー君とごしょにホテル向近くの小さい食堂に入ったところ、大阪堺学生数名の姿があった。同じホテルの顔ぶれはトー君とも知り合っていた。

「何かの本に、大西洋の孤島セント・ヘレナに流されて死んだナポレオンは、私の遺骸は私がこよなく愛したパリの真中セーヌの畔に眠らせて欲しいと、遺言したそうだが、英雄の末路はどこの国も哀れですね」と、大阪弁がコニャックでも飲んだか上機嫌。

「僕の読んだ本によると、彼の死因は胃ガンだったと一般に言われているが、第二次大戦後、彼の遺髪を化学的に分析し結果、ヒ素が検出されたので毒殺説が有力になったと書いてあったが、妙なことに力を入れる物好きもある」と、他の学生が笑う。

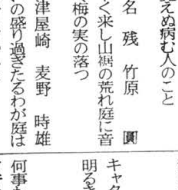
コルシカの荒野育ちの軍人ナポレオン、若い頃からよく食って走り廻ったであろう。トルストイの「戦争と平和」にあるロシア遠征の失敗、パリに敗残の身を戻した時は、精神的苦悩が胃病に拍車をかけたのであろう。

革命児胃ガンの最期、いささか小説的でない気がする。上奏検出による毒殺の新説はとも角、衣川弁慶主従のように、数人の部下と共に監視軍隊と戦い、孤島脱出の意図敗れて壮烈な終幕を閉じたの新々説でも出ると面白い。

「先生は胃袋を持たれないと聞きましたが、胃ガンの心配はありませんね」と、食後に君。「ナポレオンと同様、食い過ぎて戦場でひどい胃痙攣、遂に胃袋だけ一足先きに取り出して地獄送り。小説的どころか、お笑い草にもなりませんよ」と平句先生。

（風来子）

外遊雑話
猫も杓子も
(15)



〝海をまもろう〟
鐘崎の海浜清掃奉仕
——宗像青年会議所、鐘崎青年団、婦人会、漁協等合同で——

去る六月二十七日、白砂青松の鐘崎海浜を夏前にきれいにしようと宗像青年会議所、鐘崎漁協、同部落団、同婦人会、鐘崎漁協、同部落等が協力して一斉に清掃作業を行った。

快晴の天候に恵まれ、この日鐘崎海岸に集合した清掃奉仕者は総勢三百五十名、流木、ビニール、あき缶、あき瓶等を拾い集める者、砂浜に穴を堀り焼却を作る者、皆懸命に働く、命令指揮者はいない。

しかし一糸乱れず、作業が順調に進行する。午前九時から作業を開始し同十一時には、砂浜には浮遊物一片もなく片すけられ、或は焼かれ或は埋められて、鐘崎の海岸線は自然の美しい姿に立ち返った。

午后から同海浜に於いて、宗像消防本部による人工呼吸の実習が行われ、出席者多数が実習した。

今後、このような活動が次々に続けられて、宗像の海岸がいつまでも美しく護られることを願ってやまない。

第二〇回 宗像大社歌会詠草
毎月一日〆切　詠草到着順

宮田　片山　朔子
四十年生育ちえた米作り止めし田に降る雨をみていつ

津屋崎　占部　由久
朝の試歩海辺に出れば広々と昨日よりの昂除々に静まる

戸畑　田中ハツセ
ぐんぐんと高度はさがり雨雲は煙の如く翼を走る

福岡　吉田　信夫
也良が崎草に埋れて歌碑古りぬ見渡す海に舟一つ

八幡西　安川　浄生
華麗なる歴史の都めぐり来て娘の家に夜の雨聞く

宮田　片岡　一
ぬばたまの暗く首なき夜の闇に八十年の過去の幻

武丸　原田　リノ
三日前に摘み煮付けし蕗のあく染みたる掌に出し新茶頂く

津丸　松尾　豊
牛馬耕に頼りし頃の農今不要なれども捨かねて居る

宗像　吉田　直志
川面に鷺に浮ぶ鵜飼ひ舟流れ静かに月の涼しき

田久　小方　実
真白なるのキャンプに包まれて植え西瓜はあたたかく見ゆ

福岡　桜井　ツ子
庭松の花粉をりをけぶる昼今年子を想ふ亡き夫おもふ

宗像　八波　五月
腰折りて鋤き痛みの絶えぬ日七くだみに白きつゆの雨降る

田熊　岡部　緑陽
己のが身の願行なれとマラソンに今朝は覚えぬ病む人のこと

名残　竹原　圓
梅雨はやく来し山裾の荒れ庭に音も詫しく梅の実の落つ

津屋崎　麦野　時雄
あじさいの盛り過きたるわが庭は紫君子蘭今あざやかに

福岡　林　まつえ
うつつとも夢とも思ふ幼き日若き日老の日今日迄の日々

田久　立花　勇雄
石鹿崎の突端に佇ちて岩礁に黒潮白くしぶく様見つ

鐘崎　村田　四郎
はらからの兄と慕ひし君逝きて水無月飲けし星空わびし

田熊　今村　重刀
いささかの素朴なる見ゆ戦時下の忙がしかりし麦秋を偲ぶ

逗子　石松や寿子
故里の植田いかにと思ひおり九州地方豪雨と聞いて

武丸　立石ろせ乃
軒の樋つたひて落ちる雨の音おのずからなるリズムをもてり

田熊　力丸　一郎
紫陽花の花よりこぼれし揚羽蝶梅雨の晴間に舞いもつれ飛ぶ

東郷　田中　春子
垣根越えて庭に咲くドクダミの寄れば真白き花をかすめも

阿蘇　花田　寿子
個室より流るる読経の声を聞くホームのベットに命保ちて

田熊　鷲津かつ代
看護婦の白衣をぬげばあどけなき少女となりて帰りゆく君

宗像　白木うめの
刈り干しし草ぬらす雨音もなく明るきままに一日降りたち

田島　吉武　武雄
泉水の緋鯉を睨む猫人猫しの忍足音にすばやく逃ぐる

深田　中野　節子
キャタツに上り窓拭く女は若し明るき色の手袋はめて

大井　木原　ふさ子
何事もリズムの中で育つ娘について行けざる焦燥もちぬ

宗像大社での研修を了えて

私達、二十四名は出光興産㈱に入社して平均十一年の中堅社員ですが、今度第十二期店主室教育生として、四十日間の本社研修後、本研修の総仕上げとして三泊四日（四月二十四日より二十七日）に亘り宗像大社での研修致しました。

宗像大社での研修は第一期生より実施していますが、本格的な研修は前回の第十一期生からで、私達が本格的研修の第二回目です。

この研修期間中、特に感銘をうけたことを申しのべてみたいと思います。

第一に、全員が白衣白袴、白足袋という姿で大社での研修をしたことです。

私達は職場での後輩指導にあたり、しばしば躾教育は形から入るべきか、心から入るべきか、という難しい問題に直面しますが、この研修期間中は、この白装束の方が自然であり、むしろ精神的に非常に落着けた自覚であったことを思いだします。形から入ることによって、心も自然にその形に律せられる、という貴重な体験をさせて頂きました。

第二は、私達は、日本人とか、神とか、祖先とかについて日常深く考えてみることはなかったのですが、高宮斎場の石を積みあげただけで簡素な作り方をみると、日本の神々は、私達のきわめて身近におられる、つまり祖先そのものが神であるという、日本の神の根源を発見できたような気が致しました。又、神職の方々の二講詩や献饌、朝拝、鎮魂、清掃、神拝作法という課業を通して、私達は日本民族について、神について、祖先について静かに考えてみる貴重な機会を持たせて頂きました。

第三は、中津宮の参拝です。これは神社の方々の御配慮により、今回初めて研修にとり入れて頂いたものです。

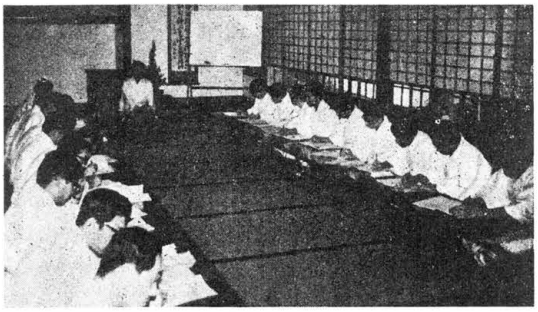
神湊より沖合い九粁の海上にある大島へ定期船で渡り、宗像中津宮宮司様の温い出迎えをうけ、中津宮に参拝、そしてこの大島より更に沖合四十九粁にある沖ノ島の沖津宮を遥拝致しましたが、私達は宗像大社の規模の雄大さと、国民道の祖神としての格式の高さに驚かされると同時に、沖ノ島から発掘された数々の出土品をみるにつけ、私達の祖先の敬神崇祖の念の厚さと、日本文化と伝統の奥深さに非常に大きい感銘を受けました。

私達は、この宗像研修で貴重な体験をさせて頂きましたが、特に俗界から隔離された荘厳な空気に心身を洗われ乍ら、日本民族のすばらしい精神史を学ぶ糸口を教えていただいた気が致します。これは偏に幕津宮司様はじめ神職の方々のお蔭と深く感謝しています。

厚くお礼申し上げます。

私達は全員、各職場に帰り頑張っていますが、今後一層立派な日本人、社会人、出光人になるよう努力する覚悟です。

――出光研修生記――



宮司講話をうける研修生

話題の新車をみる (12)

ホンダ・アコードの巻

自動車業界はこのところ多忙の様相を示し四月下旬から五月中旬にかけて各社は、①軽自動車のワク拡大②排出ガス対策③上級車指向―と、時代に反映したテーマにそれぞれ取組んで新型車を登場させている。

四月二十七日―「スバル・レックス5」

五月七日―「ホンダ・アコード」

五月十日―「フェローMAX五五〇」「いすゞ一一七クーペ」

五月十四日―「三菱シグマ」

今回はこの中のホンダ工業の二版）の4モデルが揃っている。

ニューモデル「ホンダ・アコード」について見てみよう。

そもそも「ACCORD」という名称は、英語で〝調和〟〝適合〟といった意味宜しく、新時代の車に対する要請に余裕をもって応えるとの開発テーマの下に、スタイル・機能共々シャープさとゆったりした曲線を適度に調和させているのが特長である。

車名の型式名称―ホンダB―SJ。機種構成は①SL（所謂ベーシックモデル）②GL（SLのひとつ上級版）③LX（充実装備の高級版）④EX（総調める最高級版）の4モデルが揃っている。

全長は、SL四二〇五ミリ、GL・LX・EX四二五ミリ、全幅は一六二〇ミリ、全高は一三四〇ミリ、最低地上高は一六五ミリにてロングノーズ、ハッチバック。一六〇〇CCクラスとしてはかなり広いトレッド（前一四〇〇ミリ、後一三九〇ミリ）で安定感と操安性を保ち、デザインにはシビックの台形思想が引継がれているが、シビック一五〇〇・4ドアに比べて一〇〇ミリ延長されたデザインで疲れない透過式と照射式を併用―

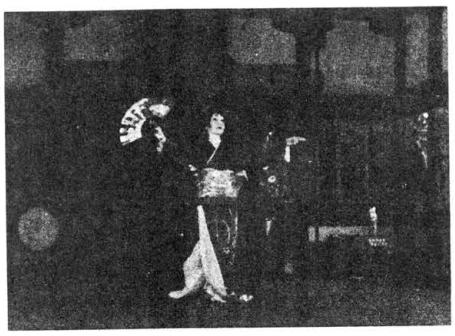
パネル中央下部にはドア・リヤゲートの半ドア状態、ブレーキランプの断線を知らせるセーフティインジケータがあり、スピードメーター文字盤にはエンジンオイル・オイルフィルターの交換時期とタイヤローテーションの時期を示すメンテナンスインジケーターが組込まれており、パネル上部にブレーキ・オイル・チャージ・チョーク・ビーム・フューエル等の警告灯が横一列に配置されている。

操作系は、走行中に必要とするスイッチ類もハンドルから離れないで手元にまとめる等、非常に細かい所まで配慮されているのが大きな特色である。

〝舞の奉納〟

西川鯉近師

六月中旬、梅雨の晴れ間の日曜日、西川流の舞踊家西川鯉近師（福岡市博多区下呉服町）が芸道上達を祈願して当宮に舞を奉納された。



「喜三の庭」奉納の西川師

当日午前十一時、拝殿で髪を島田に結い、裾引き姿で被い を受けられた後、長唄「喜三の庭」をあでやかに舞い納められた。快晴に恵まれた休日のため参詣者が多く、折からの奉納舞に拝殿前は忽ち一杯となった。

師匠は八月一日、当社夏の大祭に舞を奉納される予定でおられるが、八月名古屋市で開かれる〝名古屋おどり〟に出演するため、急拠繰り上げての奉納となったもの。

因みに、当宮神市島宛神は「弁財天」として〝敬〟され、全国の弁天社の総本宮であり、芸能の神様でもある。

× × ×

おしらせ

NHK教育テレビ放映

「海ノ正倉院、沖ノ島」

放映　八月十八日（月）

午后十時三十分～十一時

通信高校夏期講座

歴史をあるく

～世界の中の日本～

〔便り〕宗像大社旧奨学金受給生近況報告

前略

皆様お体にかわりなくお過しのことと存します。私は高校三年間、皆様の暖い心に奨学金を頂いた立花恵子と申します。こうして皆様にお手紙を差出せることが出来て嬉しく思っています。もっと早くと思いながらも遅くなってしまったことをお詫び致します。さて私の身上からお話し申し上げます。

私、昨年ある会社に就職が決まっておりましたが、折からの不況で自宅待機になりました。三カ月と言う話だったのですが六カ月にも延びました。三カ月間は仕方なく待っていましたが、もう三カ月延びると言う会社の知らせに、あまりに勝手のいい事と一時腹をたてました。怒ってばかりではどうする事もできないので落着いてから学校へ行きました。高校卒業時の先生と相談したのです。三カ月間待つか他の会社に入るかどちらかを選択しなければならなくなりました。他の会社への入社はまで六月に入っていたから難しいと聞かされ仕方なく家に居ました。友達は会社や大学に通っているのに私だけ家に居ると言う事はとても寂しく惨めな気持ちで日々を送っていました。そんな時先生からの電話があり、良い就職先があるからそちらに行かないかというお話しでした。私は働きたかったので翌日に今の会社の先輩方にお会いしました。そしてすぐさま決めてしまいました。後日、改めて会社の主任の方にお会いて決めました。そして今、これで良かったと思っています。

優しい先輩方が居てくれて嬉しく思っています。遅れましたが、今は三井建設の新宮工作所に勤務しております。先月で一年になりました。月日は長いようで本当に短いですね。ばたばたしているうちに一年が過ぎました。しかし、今では心にゆとりも少しできました。これは辛かった高校生の頃を恵様の心暖まる思いで切りぬけられたお蔭と感謝しております。本当にありがとうございました。

恵様も健康でいられますよう願っております。乱筆で申し訳けございません。

先ずは御報告まで。

草々

七月一日　立花　恵子

宗像大社宮司様

瀛津島防人日記 (6)

「高々に」は万葉に九例、「しこたれよぶ鳥」で、たれを呼ぶのであろうかの、「よぶ」と呼子鳥の「よぶ」とを掛けていったのである。この呼子鳥も一般にはカッコウが考えられているが、土屋文明氏はもっとひろく人を呼ぶように鳴く鳥はすべて呼子鳥といったので、ヤマハトなどもその一つであろうといわれている。この歌の句は五句とも万葉に用例があるがことに「おほゝしゞ」は十七回、「よぶ鳥」は七回ある。この「新羅」は、朝鮮半島の古い国名。廣州から起った六六八年に五年には高麗に滅ぼされた。「百船の」は対島の枕詞で万葉にも三例がある。「津島」は港のある島の意で対馬の名義である。たくさんの船が着くから「百船の」の枕詞が用いられたのであろう。「根ろの」の「根」は綱、「ろ」は接尾語である前にも述べたように沖の島は神の湊から対馬からも六〇キロの海上にあるので、よく晴れた日にはかすかながら対馬が見えることもあるのであろう。

以上で「瀛津島防人日記」の上巻を終ることになるので、これから下巻につづくことにしよう。

九州大谷短期大学教授　中村行利

（題字は、当社蔵平野国臣書写瀛津島防人日記より転載したものです。）

たれよぶ鳥」は万葉に九例、「しこほとゝきす」は二例ある句であるが、やはり種信はそれを意識的に取り入れたものであろう。

(27)狭霧帰（降）いはのかけ路はかしこけと吾はかよはん万代までに

霧が降って岩の険しい山道は恐しいけれど、私は通いましょう。万代までも。

「かけ路」はがけ路。「かしこけど」は「かしこけれど」で、恐しいこと。この歌は島の西の方にある大きな岩窟のあるあたりの命綱をかけなどしてあるがけ路を詠んだものである。「かしこけど」「吾は通はむ」「万代までに」はそれぞれ万葉に類句がある。

(28)神山の木のくれしらにかほとりの声のこほしきこの夕かも

神山の木が茂ってその下のくらいのも知らずに鳴くかほとりの声のこひしいこの夕方であることよ。

「神山」は沖の島全体をさすのであろう。「木のくれしら」の「木のくれ」は木が茂って暗いこと。「しらに」は知らずに、知らないで、などの意。「かほとり」は諸説があってどんな鳥かわからないが、顔鳥・容鳥・鳥なども書くところをみると顔の美しい鳥のことか、或はさらに一歩すんで姿の美しい鳥のことではあるまいか。今はカッコウが一般に考えられているようである。万葉は四例あるが、三例は春日山あたりのようであるから日本のなら広い範囲にいる鳥とみえる。万葉には「こゑのこほしき」と「こゑのひしき」がともに一例あり、「このタかも」は二例ある。こうしてみると種信がいかに万葉に精通していたか、そしてそのことばを自由に使いこなしているかがわかるであろう。

(29)木のくれ暗たきも知らにおほゝしく吾行道にたれよぶ鳥

「たときも知らに」は「たときもしらに」で、方便がない。どうしてよいかわからない。「おほゝしく」は「おほぼしく」で、ぼんやりして相手の姿、形がはっきりしないこと。「たれよぶ鳥」は「たれよぶ鳥」は、はしゃぎさわぐこと。「つぬしま」は山口県豊浦郡の特牛（こっとい）港の沖に長く横たわっている島である。万葉に一角島の迫門（せと）の若布は人のむた荒かりしかど我がむたは和布（にぎめ）」（巻十六・三八七二）の歌があるが、これは「角島の瀬戸のワカメは他人と共にあるときはやわらいだワカメである。」という意味で、人によって態度をかえるこの島のおとめをよんだ民謡であろう。ここはワカメ今も有るべし、春になるとワカメ刈りの行事があるとかきいている。種信はこの歌を思いうかべながら、沖の島の磯鼻からはるか北方にかすかに浪の間に見える角島（つのしま）をなつかしんだことであろう。

(31)新羅辺は夕立すらし百船の津島の根ろゆ雲居立来も

いま、対島のうへから雲が立ってくることよ。

新羅のあたりは夕立がするらしい。対島のうへから雲が立ってくることよ。

(30)秋の野の萩踏しき鳴鹿のさくつぬしま浪間より見ゆ

角島が浪の間から見える。

「秋の野の萩踏しき鳴鹿のさく」は「つぬ」にかかる序詞であろう。この時はまだ五月であるから、この序は無心の序といえよう。そこで訳には省くことにした。「踏みしき」は踏みにじる、踏み散らす、などの意で、「さく」は、はしゃぎさわぐこと。「つぬしま」は山口県豊浦郡の特牛（こっとい）港の沖に長く横たわっている島である。万葉に一角島の迫門（せと）の若布は人のむた荒かりしかど我がむたは和布（にぎめ）」（巻十六・三八七二）の歌があるが、これは「角島の瀬戸のワ

宗像大社歌会 俳句作品集（六二）

藤沢　井上玄洋子

植木市似よりの夫婦あちこちに

田熊　力丸　一郎

九十の老媼逝きて梅雨静

福間　上野　義夫

神苑の雷鳴もくっきり夏木立

土穴　八尋　恒夫

七夕に短歌を作り短冊に

田島　吉武　武雄

ほとときす今朝も一声若葉蔭

田島　有吉　唐水

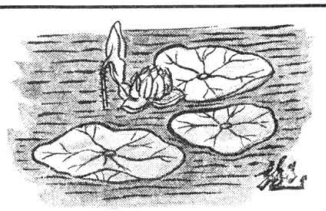
今日も亦飲み過ぎて悔う梅雨の夜

宗像　岡田　無名

蛙なく離合待する夜の駅

田島　早鳥

梅雨はれて高鳥のこえ朗らなり



西日本新聞社刊・滝口凡夫著

創造と可能への挑戦

―出光佐三の事業理念―

第七章　ペルシャ湾の日章旗

唯一の武器日章丸

再開されたばかりの太平洋岸製油所の常圧蒸留装置では、米国原油なら七〇オクタン価程度だが、外資提携による『ひもつき原油』の中心となった日東原油では四〇―四五オクタン価にすぎなかった。四エチル鉛を限度いっぱい加えても、六〇オクタン価どまりである。

高性能のエンジンを備えた新しい自動車は、これではとても満足できない。

ガソリンの輸入と、新しい生産技術の導入を求める声が高くなった。

もとより佐三は製品輸入者である。『ガソリンにも輸入外貨を与えよ』と機会あるごとに政府に迫った。高オクタン価ガソリンが作れないならば、輸入でそれを補うのが常道である。質の悪いものを、高く売りつける、消費者無視の国際カルテルの政策が、佐三にはがまんならなかった。

当時の周東英雄経済安定本部長官も、総司令部を訪ねてガソリンの輸入を要請している。それでも、経済科学局（ESS）は認めようとしない。

周東は言った。『出光さん、講和条約の発効まで待ちなさい』

二十七年四月、待ちに待った講和条約が発効した。

政府は出光興産に、ガソリン輸入外貨として五十万二千三百八十ドル、輸入量二万六千七百四十六キロリットルを割り当てた。

反撃の機会はきた。いまこそ、国際石油カルテルに『民族資本、民族経済』の第一矢を射込むときである。

日章丸の乗組員も勇み立った。これまでの積み荷は重油、ストーブ油だったが、こんどは待望のガソリンである。

戦後の輸入第一船として初めてロサンゼルスに入港、重油のほかに五千トンの高オクタン価ガソリンを積み、四月末には神戸に帰った。

わずか五千トンだったが、七七オクタン価という高性能ガソリンを、日本人は初めて知った。

出光は『アポロ・ガソリン』と名づけて売った。消費者には大好評である。業界は衝撃を受けた。カルテルの網の目が破れたのである。おそるべき出光の商法、経営力を、改めて思い知らされた。

しかし六月、五度目の航海もなると国際カルテルも応戦の態勢を整えた。各石油会社、ブローカーに手を回し、出光にはいっさいガソリンを売らせないようにした。船はまもなくロサンゼルスに着こうというのに、注文した品物が手に入らない。

駐在員は必死で捜した。どこか、ガソリンを売ってくれるところはないか。

とうとう見つけた。メキシコ湾岸、テキサスの石油都市ヒューストンである。相手はイースタン・ステイトという石油会社だった。

このあたりが、米国なり米国人の面白いところである。人種のルツボ、自由の国である。がめついようだが、どこかおうようで抜けたところがある。大国民の襟度とでも言おうか。

東京の本社から、すぐ日章丸に電報を打った。『パナマ運河を越えヒューストンに向かえ』

ところが、ヒューストンからだと全タンクにガソリンを満載しないと採算がとれない。

日本船として戦後、初めてパナマ運河を越える感激にひたる間もなかった。乗組員たちは、その前後十二日間、航海中に重油や軽油のタンクを洗った。終戦直後に、旧海軍の燃料タンク底油を汲み上げたときと同じである。皮膚がただれ、顔がむくんだ。

ヒューストンに着いたときは、顔にコウヤク、手にホウタイという痛々しい姿だった。

それでもガソリン二万キロリットルを、品質を損なわずに川崎に揚陸した。『アポロ印』の盛名が、いっそう高まった。

ガソリンは、やがてヒューストンでも入手できなくなり、南米の新興石油国ベネズエラから輸入することになる。

高オクタン価ガソリンの輸入は、独立日本の意地と底力を内外に示した快挙であった。つぎに述べるイラン石油カルテルに支配されず、完全なフリー・ハンドを持つ出光だからこそ、それが可能だった。

他方、これによって国内の石油製品価格が下った。ガソリンについて、重油も値下がりした。また、業界は高オクタン価ガソリン製造のため、新技術の導入と設備の新設を急がざるを得なくなった。

わが国で接触改質、接触分解による高オクタン価ガソリンが製造され始めたのは、それぞれ二十八年、二十九年からである。

出光の快挙が、国家と消費者とのために果たした役割りと意義は、はかり知れないほど大きかった。

燃える砂漠への使者

昭和二十八年四月十日、日章丸は突如としてペルシャ湾の最深部、イランのアバダン港に、一万八千トンの巨体をあらわした。滞在すること三日、世界最大のアバダン製油所から、二万四千キロリットルの石油製品をタンクいっぱいに詰め込むと、風のようにペルシャ湾に抜けアラビア海に消えた。

この事件ほど、日本の石油業者が国際石油資本と英国政府を激怒させ、日本政府をあわてさせたことは、かってなかったであろう。

舞台は『世界の火薬庫』中東。燃えさかる民族主義の炎を背景に、イランの首相モサデグが石油国有化を宣言、アングロ・イラニアン石油会社（英系）の全資産を接収してからちょうど二年目。独立後わずか一年の日本の商社が、大胆にも国際紛争のどまん中に突入し、堂々とガソリンを運び去ったのである。

『盗品故買』――イランがアングロ・イラニアン石油から盗んだものを日本人が買い取ったというわけである。

『さすがは日本、正義を助ける英雄的行為』と驚喜するイラン。

事件は国際問題となり、裁判で争われ、結局は出光興産の勝利に終わるのだが、ここで注目したいのは第一に輸入を決意するまでの周到綿密な調査と準備、第二に計画の実行、事後処理を通して示される毅然たる姿勢である。

国際的に波紋を呼んだ事件だけに、佐三と出光の理念、主義主張が明確に浮かびあがってくる。

私たちは、ペルシャといえばネコとじゃうたん、ペルシャ湾といえば石油とレスリング、をすぐ連想する。ペルシャが国名をイランと改めたのは、パーレビ国王（初代）によって近代化が進み始めた一九三五年（昭和十年）である。

中東は石油の宝庫である。現在、世界の原油確認埋蔵量の六二・二パーセントを占め、わが国が輸入する原油の八四・七パーセント（石油統計年表七一年版）が、イランを初めサウジアラビア、クウェート、アブダビなどの中東諸国からである。

中東石油の中で、イランの歴史がもっとも古い。最初に発見されたのは、紀元前三百年以上の古代に属するアレキサンダー大王のことといわれる。

イラン石油の近代史を開いたのは、英人ウィリアム・ノックス・ダーシーである。

豪州で金鉱を掘り当てたダーシーは、六百ドルをふところにイランに渡った。一九〇一年（明治三十四年）には、ときのペルシャ国王から国土の約七割、五十万平方マイルにおよぶ鉱区権を獲得、翌年から掘さくにかかった。

荒漠たる高原地帯、焼けつくような太陽の下で探鉱を続け、資金もようやくつきようとする一九〇八年、西南端のマイナン・イ・ナフタンで大噴油に当った。その翌年、アングロ・ペルシャン石油会社を設立している。

この会社が、一九三五年の国名改称のときに『アングロ・イラニアン』石油となり、さらに一九五四年（昭和二十九年）に国有化問題が解決したときに、ブリティッシュ・ペトロリアム（B・P）と改称するのである。

ダーシーは製油所建設地としてペルシャ湾に流れ込むシャタル・アラブ河岸の不毛の地アバダンを選び、一九一一年には油田とアバダンを結ぶパイプラインを敷いた。二年後には、製油所の操業を始めている。

第一時世界大戦が始まった一九一四年、アングロ・ペルシャン石油にとって画期的なできごとがあった。

第一は、時の英国海相ウィンストン・チャーチル（のち首相となる）が、海軍の燃料を石炭から石油に切りかえたこと、第二はその燃料供給のためアングロ・ペルシャンと長期契約を結んだこと、そして第三は英国政府が二百万ポンドを出資し、資本金の過半数を握る大株主となったことである。

アングロ・ペルシャン石油は、英国の国策会社となった。

社務日誌抄

六月三日　責任役員会、会議室

六月五日　鹿島建設㈱土木課長外十二名参拝

六月六日　玄海町少年剣道大会、玄海小学校

六月七日　終戦三十周年沖縄戦没者慰霊祭奉仕

出光興産㈱福岡支店研修会、五月寮

六月八日　宗像郷土芸能振興会会議、斎館、高橋玄海町長外

六月十日　魚魂供養塔清祓奉仕、魚屋旅館、

文化庁美術工芸課技官五名沖ノ島神宝調査（十七日まで）

六月十三日　宮地嶽神社と親善ソフトボール大会、玄海小学校グランド

六月十五日　月次祭

六月二十日

児童の遊戯・玩具

今年は例年にない涼しい梅雨期である。時には涼しさを通り過ぎ夜中に布団を引出す始末、本当に冷たい七月になりかねない、ともあれ梅雨は早く災害の少ないうちに終りたいものである。

先月に引続き、身近な児童の遊戯・玩具についてのべてみよう。

シッペイ

食指と中指の二本で、相手の手の甲を打つ我慢くらべの遊び。シッペイの字義は、漆篦（しっぺい）からきたもので、もと禅家で戒めるために使う竹のむちからきたものだといわれ、初めは戒めるため、または罰のために、竹篦のかわりに指を以てしたのが、後に遊びに移ったものと考えられる。室町時代初期の作とされる「異制庭訓往来（いせいていきんおうらい）」に見える指抓（ゆびはじき）というのも、おそらくシッペイの一種として行われたものであろう。

独楽（こま）

心棒または軸の周囲に回転運動する玩具。古く木の実の類を廻して遊ぶ自然遊戯から発達して、木をえぐって製した廻りのよい独楽の工夫がなされたものと考えられる。

「日本書紀」雄略天皇紀に「高麗王即発軍兵、屯三聚城是流城、遂歌舞興ゝ楽（こま）」と見える楽をコマと訓むいわれは、雑戯楽（さんがく）として中国から伝来したものだからである。奈良時代には朝廷で催された神仏会などに余興として行われ、独楽の多種多様に発達した。

紙鳶（たこ）

竹木の類を骨にし、紙を張り、糸をつけ、風に乗じて空中に飛揚さす遊具。関東ではタコ（凧）、京阪ではイカ（紙鳶）またはイカノボリといい、地方では、ハタとか、フウリウとも呼ぶ。もと飛ぶ鳶に擬して作り始めたものだといわれ、漢の高祖が陳豨を伐つとき、韓信が敵状偵察用に作ったのが起源であるといわれている。日本にいつごろ伝わったか未明であるが、『倭名抄』には紙鳶を紙老鳶と書き、その註釈に「世間、紙劣之（しろうし）という」と見ている。このシロウシもしくはイカが、鳥の名であるところからみて、紙鳶（凧）の名は、それらの鳥類の形象によったものであるということがわかる。

東京では、タコを春の初め正月に飛揚するしきたりのようになっているが、大阪では、五、六月、浜松では端午の節供に凧合戦をするしきたりである。紙鳶を揚げる効果について、中国の「続博物志」は、「今、紙鳶の糸を引くに、小児、口を張って、仰いでこれを視るに小児の内熱を洩らさしむ」といって、紙鳶を小児専用のようにいっているが、迅世には大人の競技用として諸方で大紙鳶を揚げることが流行している。長崎の紙鳶会、浜松の凧合戦、相模の厚木、伊予の宇和島、新潟その他数あるなかにも、浜松の凧合戦は、浜松城主飯尾豊前守致実の長子義広誕生の祝いのために近在大野村の住人佐橋甚七郎が、にそれを祝して大空高く名を揚げしめる祝儀が喜ばれたことを起源とし、天正十八年（一五九〇）豊臣氏の部将堀尾吉晴在城の時、城内から凧揚の行事を継続する意見が出され、江戸時代には松平伊豆守信親が端午の節供を期して凧合戦を催すなどの歴史ある凧行事として、今日の大がかりな凧合戦を存続してきている。その凧の大きさは約二間四方、美濃紙九十六枚貼りを限度とするといわれる。この凧の形状は長方形であるが、紙鳶には角形・五角形・六角形があり、蜻凧・鳥凧・鳥賊凧・扇凧・軍配凧・奴凧・鳥賊凧・飛行機凧、夜間用のあんどん凧など、その形状大小は多種多様である。

行事日誌

舞奉納、西川鯉近師匠

六月二十一日　山林下草刈り、総代奉仕

六月二十二日　玄海町成人学級、斎館

六月二十四日　出光タンカー㈱日田丸竣工祭、三菱重工長崎造船所

葦津宮司他二名奉仕

出光興産㈱門司油槽所々長大川哲夫氏外四名参拝

神社本庁猿女偵親氏参拝

生島神社上村道夫氏参拝

六月十五日　九州県内各交通機関代表者三十五名参拝、

少年自然の家九州地区各所長参拝

六月二十六日　箱崎宮祝典、葦津宮司参拝、宗像吟詠会、五月寮

六月二十八日　神社庁宗像支部会、五月寮

六月二十九日　出光興産㈱門司油槽所宗像神社事務所建設地鎮祭、饗父称宜、外二名奉仕

七月一日　月次祭

出光興産㈱石田社長参拝

三井建設グループ安全祈願祭

出光興産㈱徳山製油所創立二十周年記念式典、葦津宮司他参列、

田島校高砂会、清明殿

暑中御見舞申し上げます

西日本相互銀行　福間支店
福間支店長　阿部正幸
電話 福間 ② 1231～1233 番

福岡相互銀行　古賀支店
古賀支店長　川添義雄
電話 古賀 ② 3636～38 番

福岡銀行　宗像支店
宗像支店長　力武二三生
電話 宗像 ⑥ 2017. 2217. 2721 番